

# 本県避難の被災者出演

## 震災体験 寸劇で

### 高崎で19日上演



震災を題材にした寸劇の出演者

みなかみ町のNPO法人こころの応援団(千代田すみ子代表)は、東日本大震災を題材にした寸劇を19日に高崎市で上演する。東吾妻町に一時避難した9人を含む18人の被災者が、手を差し伸べてくれた群馬の人に恩返しをし、震災の風化防止につなげようと出演する。脚本、演出を手掛ける代表の千代田さん(57)は「今も見守っているという思いを被災者に伝えるため、来場してほしい」と話している。

者に出演を依頼したところ、「体験を自ら演じることであらためて被災地に目を向けてもらえる」と快諾してくれた。18人は5年の節目に舞台に立とうと、昨年6月から1月、2回のべ1人で集まり、稽古を重ねてきた。

出演者の1人で、東吾妻に一時避難していた半杭英夫さん(82)は「親切にもらった群馬の人には感謝しかない。現在も南相馬の仮設住宅で暮らしているが、被災地や被災者の現状が少しでも伝われば」と話している。

舞台上立つのは、宮城県気仙沼市と福島県南相馬市の被災者。仮設住宅での暮らしが続いていたり、親戚や知人を亡くすなど、いまだに震災の影響が残る人た

ばばかりだ。こころの応援団は、心

病を抱える人の支援に取り組み団体。大震災発生後は

掛けた。交流を続ける被災者

話を聞いてきた千代田さんが体験談を基に脚本を手掛けた。交流を続ける被災者

様子を描いた「それでもここで生きていく」に出演する。上演時間はいずれも30分。  
会場は高崎市足門町の市民活動センターソシアスで開演は午後4時。東京都目黒区のめぐろパーシモンホールでも21日午前10時から上演する。ともに入場無料。問い合わせはこころの応援団(0278-6660909)へ。

2016年3月5日

# 朝日ぐんま

朝日新聞姉妹紙



発行 朝日ぐんま

☎ 027-221-1435

http://www.asahigunma.com

Email office@asahigunma.com

編集室 企画室  
朝日フォトコン事務局

〒371-0805

群馬県前橋市南町4-37-8.

シャトレ南1階

FAX 027-221-1768

朝日新聞東京本社

〒104-8011

東京都中央区築地5-3-2



## 「あの日」を忘れない

### 被災地に寄り添ってー

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から5年が経つ。被災地から離れた場所では、時間の経過と共に記憶が薄れがちだが、「自分たちは何ができるのか」を真摯に考え、地道に活動を続ける人たちがいる。今号では県内で復興支援に情熱を注ぐボランティア団体や個人の取り組みを紹介します。(2、3面に関連記事)

## 東日本大震災テーマの寸劇 被災者みずからが上演

東日本大震災の被災者たち自身による震災をテーマにした寸劇「あれから5年…忘れな

きた人たちを訪問するなど交流を深めた。

る。一方、「それでもここで生きていく」では南相馬の12人が、原発事故でやむなく故郷を離れた人々が不安や恐怖と向き合いながら新たなコミュニティの中で支え合っている様子

た寸劇「あれから5年…忘れな

「あれでも明日はやっていく」では、気仙沼の人たち6人が津波によって突然生活を奪われた家族の絆をテーマに演じ

午後4時開演。入場無料。21日は東京公演も。同NPO (0278-66-0999)。



東吾妻町に避難していた南相馬のみなさん。被災者自身が寸劇を演じる

津波によって被災した気仙沼の皆さん



# 被災地の生活知って



①第一部「それでも明日はやってくる」を演じる宮城県気仙沼市の人たち②第二部「それでも」で生きていく」を演じる福島県南相馬市の人たち(「こころの応援団」提供)

## 気仙沼と南相馬の住民 19日、高崎で寸劇

### 震災5年

東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市と福島県南相馬市の住民計18人が、震災後の苦難の生活をテーマにした寸劇を、19日に高崎市、21日に東京都で上演する。企画したNPO法人「こころの応援団」(みなかみ町)代表の千代田すみ子さん(57)は「多くの方々の来場が被災者への応援メッセージになる」と話す。

両日とも約30分の作品を2本上演する。第一部「それでも明日はやってくる」には、気仙沼市の40〜70歳の6人が出演。津波で生活を奪われた同市の漁師の家族が、絆を感じながら希望をつないでいく。

第二部「それでもここで生きていく」は、南相馬市の仮設住宅に住む10〜80歳の12人が演じる。東京電力福島第一原発事故で古里を離れた人々が、仮設住宅の新たなコミュニティで支え合う内容だ。

台本はどちらも千代田さんが原案を作り、出演者の意見を聞いて昨年春に完成させた。同5月からそれぞれ現地で練習を重ねてきた。

千代田さんらは大震災後

の2011年3月末、仙台市の知人の支援をする過程で、沿岸部の気仙沼市でボランティア活動を行った。

東吾妻町と片品村に一時避難した南相馬市の住民の支援も進め、以来、両市を定期的に訪問している。

寸劇の公演は、「震災の記憶が風化しようとしている」と感じ始めた気仙沼市の住民有志が発案。千代田

さんを介して南相馬市にも声をかけた。会場などの費用は、競輪やオートレースを運営する公益財団法人「JKA」の補助金で賄う。出演する気仙沼市の会社員小野寺忠行さん(74)と妻まつ子さん(68)は「大地震で津波が来たら高台に逃げろ」という教訓を絶えず後世に伝えたい」と力を込める。南相馬市の元酪農家半杭英夫さん(82)は震災後、東吾妻町に一時避難。餌をやれずに約40頭の牛を失った。「寸劇を通じて、帰還できずにいる現状を知ってもらいたい」と話している。

高崎公演は19日午後4時〜5時半、高崎市足門町の市民活動センター・ソシアス。東京公演は21日午前10時〜11時半、東京都目黒区のとめぐろパーシモンホール。いずれも入場無料。問い合わせは同NPO法人(0278・66・0999)。

# 津波・原発事故 劇で語り継ぐ

宮城県気仙沼市と福島県南相馬市の仮設住宅で暮らすお年寄りらが、津波と原発事故をテーマにそれぞれ劇を演じる。素人の集まりだが「震災が忘れられないように語り継いでいくことが大事」との思いで練習してきた。公演は避難先の一つでもあり、現在も交流のある群馬(19日)と、東京(21日)である。

劇の主催はみなかみ町の

NPO法人「こころの応援団」。代表の千代田すみ子さん(57)らは、震災発生の直後から気仙沼市の避難所を訪れ、群馬県では避難した南相馬市の被災者を支援した。その後は現在まで毎月、自宅から車で片道約8時間かけて両市の仮設住宅に行き、相談に乗ったり、落語や寸劇の催しをしたりしてきた。

劇をやるアイデアは千代田さんが考えた。演じることで、震災の状況を伝えやすいと考えたからだ。両方の劇の脚本も千代田さんがつくった。被災者の実際の体験談などが元になってい

るとい

るという。気仙沼の劇は「それでも明日はやってくる」。漁師

一家の震災当日から避難所生活までの様子を演じる。

一家の祖父役を演じる、元

船乗りの小野寺一朗さん

(74)は、自分の思いとせり

ふが重なる。

「海を恨んじゃあ、いげ

ねえよ」

現役時代は、遠洋漁業を

したり、医薬品や化学薬品

の運搬船にも乗ったりして

いた。

「魚を捕って生きてき

た。石油も生活に必要な物

も船で運ぶ。海と切り離し

て生活はできない」

津波でおぼやけ、いと

東日本  
大震災 5年

## 仮設生活のお年寄りら あす高崎で

こを失った。おぼは、財布などを取りに自宅に戻り、逃げ遅れた。劇で、小野寺さんが最も力を込めるせりふがある。

「物は失ってもまた買えるが、命はそうはいかない。家族が無事なら……、何とかなるっちゃ」

昨年、息子2人が相次い



住民らの練習の様子。気仙沼市

で亡くなった。「人の命はかけがえのないものだと言いたい。命があれば、なんぼでも考えられる」

南相馬の劇は「それでもここで生きていく」。福島第一原発の事故後、地元を追われ、群馬の避難所などを転々とした後、福島に戻った人々を描いている。

気仙沼は出演者の多くが高齢者で、せりふを覚えるのに苦労している。2月末の段階でも、台本を見ながらが精いっぱい。それでも千代田さんは「彼らは伝える使命感を持っている」と話す。

公演は群馬は19日午後4時～5時半、高崎市市民活動センターで。東京は21日午前10時～11時半、めぐろパーシモンホール(目黒区)で。いずれも入場無料。問い合わせはこころの応援団(0278・66・0999)へ。(伊藤剛利)

# 群馬

前橋総局  
〒371-8521  
前橋市大手町2-4-9  
☎ 027-221-1101  
fax 027-223-1334  
maebashi@asahi.com

太田支局  
太田市小舞木町445  
☎ 0276-45-1141

高崎支局  
高崎市八千代町2-17-6  
☎ 027-327-3001  
桐生 ☎ 0277-22-2912  
沼田 ☎ 0278-22-2403

購読・配達のご用は  
0120-33-0843  
(7~21時)

# 気仙沼襲った津波 ■ 南相馬の原発事故



宮城県気仙沼市の人たちによる劇「それでも明日はやって来る」の練習の様子＝宮城県気仙沼市

## 二つの劇 目黒で21日上演

東日本大震災後、宮城県気仙沼市と福島県南相馬市の仮設住宅で暮らすお年寄りらが21日、目黒区で津波と原発事故をテーマにそれぞれ劇を演じる。素人の集まりだが「震災が忘れられないように語り継いでいくことが大事」との思いで練習してきた。

# 仮設の高齢者ら 演じ伝承

主催は群馬県みなかみ町のNPO法人「こころの応援団」。代表の千代田すみ子さん(57)らは震災の直後から気仙沼市の避難所を訪れる一方、群馬県では避難した南相馬市の被災者を支援した。現在まで毎月、車で片道約8時間かけて両市の仮設住宅に行き、相談に乗ったり、落語や寸劇の催しをしたりしてきた。

劇をやるアイデアは千代田さんが考えた。演じることで、震災の状況を伝えやすいと考えたからだ。脚本も千代田さんがつくった。被災者の実際の体験談などが元になっているという。

気仙沼市の人たちの劇は「それでも明日はやって来る」。漁師一家の震災当日から避難所生活までの様子を演じる。一家の祖父役を演じる元船乗りの小野寺一

朗さん(74)は、自分の思いとせりふが重なる。

「海を恨んじやあ、いげねえよ」

現役時代は、遠洋漁業をしたり、医薬品や化学薬品の運搬船にも乗ったりしていた。「魚を捕って生きてきた。石油も生活に必要な物も船で運ぶ。海と切り離して生活はできない」

津波でおばやおじ、いっこを失った。おばは財布などを取りに自宅に戻り、逃げ遅れた。劇で小野寺さんが最も力を込めるせりふがある。

「物は失ってもまた買えるが、命はそうはいかない。家族が無事なら……、何とかなるっちゃ」

昨年、息子2人が相次いで亡くなった。「人の命はかけがえないものだと言いたい。命があれば、なんぼでも考えられる」

南相馬の人たちが演じる劇は「それでもここで生きていく」。東京電力福島第

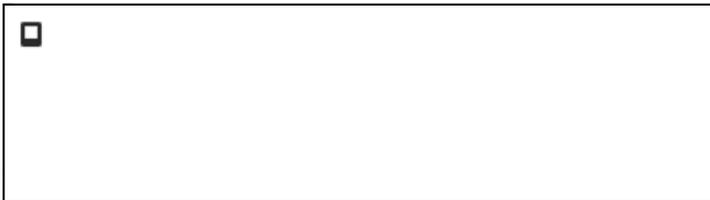
一原発の事故後、地元を追われ、群馬の避難所などを転々とした後、福島に戻った人々を描いている。

気仙沼市の出演者は高齢者が多く、せりふを覚えるのに苦労している。それでも千代田さんは「彼らは伝える使命感を持っている」と話す。「被災地に行けなくても、劇を見てくださる

ことで被災者への応援のメッセージになると思うので、見に来て欲しいです」

公演は21日午前10時～11時半、めぐろパーシモンホール(目黒区八雲1丁目)で。入場無料。問い合わせは、こころの応援団(02-78-66-0999)。

(伊藤蘭莉)



トップ ニュース スポーツ 会社概要 広告案内 出版案内 購読案内 プリント案内 お問い合わせ

TOP > ニュース > 震災 風化を防げ 気仙沼市民が演劇で発信(3/2付)  
2016年03月04日 10:00記事更新

● 過去号外新

### 震災 風化を防げ 気仙沼市民が演劇で発信 (3/2付)



公演に向けて最終調整する出演者

気仙沼市内の有志らが、東日本大震災当日の様子を伝える演劇を制作した。被災者が直接演じることで、風化防止や前を向いて生きていくメッセージを込めた。今月下旬の公演に向けて汗を流している。

演劇は「それでも明日はやってくる」。震災で津波を経験し、船を冲出した漁師の父や、家を流されるのを目の当たりにした祖父などの家族が避難所に入るまでの物語。

衣装や舞台セットなども含め、すべて手作りで、実際に自宅が流されたり、家族を失ったりした市内鹿折地区と唐桑地区の住民ら6人が演じる。公演は群馬県の高崎市民活動センター(19日午後4時)と東京都のめぐろパーシモンホール(21日午前10時から)の2カ所。福島県南相馬市の住民らによる演劇もある。

[<<前の記事へ](#)

[次の記事へ>>](#)

気仙沼市の



故郷永久—3.11東  
震災  
三陸新報社  
新品



プライバシーに



巨震激流  
三陸新報社  
新品



プライバシーに

[HOME](#)

[▲上に](#)

[戻る](#)

[| 会社概要 | 広告案内 | 出版案内 | 購読案内 | プリント案内 |](#)

docomo ドコモ光 スマホの料金を1,000円/月~追加で今ならドコモ光ご契約でdポイント5,000ポイントプレゼント! スマホとネットとプロバイダがすべて使える!

新聞購読 お申し込み +500円で、デジタルも  
デジタル版 お申し込み PC、スマホで  
読者セット デジタル毎日



写真 動画 有料会員向け

 検索

毎日新聞社 総合案内 宅配申込 会員メニュー ログイン

トップ 社会 政治 経済 国際 サイェンス スポーツ オピニオン カルチャー ライフ 教育 地域 English 紙面ビューアー

総合 速報 紙面掲載記事 サンデー毎日 デジタル毎日スペシャル

[PR] お金がない!安心かつ低金利の銀行カードローンを比較

## 東日本大震災

### 被災者自ら寸劇 高崎市民活動センターできょう上演 みなかみのNPO企画 /群馬

毎日新聞 2016年3月19日 地方版

社会一般 群馬県

#### 生活再建へ奮闘/故郷追われ不安・怒り

東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市と福島県南相馬市の住民18人が、苦悩しながら奮闘する生活をそのまま演じる寸劇が19日、高崎市で上演される。企画したNPO法人「こころの応援団」(みなかみ町)代表の千代田すみ子さん(57)は「前向きに今を生きようとする姿を、被災者自らが演じる寸劇。多くの方々に見てもらうことが応援メッセージになる」と話している。

寸劇は約30分の作品2本立て。第1部「それでも明日はやってくる」には気仙沼市の40~70代の6人が出演。津波に生活を奪われた漁師一家が、絆を感じながら希望をつないでいく。第2部「それでもここで生きていく」は南相馬市小高区を離れ市内の別地区にある仮設住宅で暮らす10~80代の12人が演じ、東京電力福島第1原発事故によって故郷を追われた不安や怒り、新たなコミュニティでの支え合いが描かれる。

千代田さんは震災直後から被災地でのボランティアや、群馬県内に一時避難した南相馬市民の支援に携わり、今も定期的に気仙沼や南相馬を訪れ、住民との交流を続けている。寸劇の台本は2本とも千代田さんが原案を作り、出演者と練り上げた。昨年5月から月1、2回のペースで稽古(けいこ)。震災と原発事故から5年がたち、風化を感じて「自分たちは忘れられているのかな」とこぼす人もいた。今では「寸劇を通して年代を超えた仲間ができた」と話すメンバーもあり、意欲十分で本番に臨む。

19日の上演は午後4時~5時半、高崎市足門町の市民活動センター・ソシアスで。入場無料。21日には午前10時~11時半、東京都目黒区のみぐろパーシモンホールで公演する。こころの応援団(0278・66・0999)。【尾崎修二】

ニュースサイト・トップページはこちら

PR 体臭の原因を洗い流す? サントリーが大人の体臭を防ぐ石鹸を開発

PR 「中性脂肪に打ち勝て」半信半疑だったのに1日1本で驚愕の結果

PR 海外事業責任者・マーケ・人事など年収1000万円以上の海外求人

PR 掘り出し中古物件を探せ! 間取りと取材写真で徹底比較したいなら

First Server 他社残存期間をキャッシュバック!  
他社 Zenlogic  
初期費用0円!  
バックアップ WAF 電話サポート SLA品質保証  
クラウド型レンタルサーバー Zenlogic  
今すぐチェック

### センバツ高校野球 3月23日の試合

土佐 (高知)	0-9	大阪桐蔭 (大阪)
南陽工 (山口)	ライブ	市和歌山 (和歌山)
花咲徳栄 (埼玉)	試合前	秀岳館 (熊本)

Timeline

1

0

0

毎日新聞のアカウント

RSS

新聞宅配申し込み

デジタル申し込み

### ピックアップ

PR 住まいを探すなら、毎日新聞 X SUUMO 住宅情報ナビで! 毎週更新中。

PR 信頼性で選ぶ分譲マンション 大手7社が集結した新築マンションポータル: メジャーセブン

### 話題の記事

クローズアップ2016  
ベルギー同時テロ 狙われたEU中枢 厳戒でも防げず バリ実行役逮捕直後

くらしナビ・学ぶ  
スマホっ子の風景 竹内先生の教育論 「夢はユートーバー」勉強しない子どもたち

ベルギー  
テロ34人死亡 ブリュッセル、空港・駅で爆発3回 ISが犯行声明

powered by CXENSE

### アクセスランキング

1時間 1日 1週間 1か月 SNS

教育総合サイト **中日新聞が運営する中部地区の大学情報サイト**

CHUNICHI Education Web Site **地元の大学を探すなら、地元の進学サイトで。**

スマホでも思い立ったらすぐ検索!



トップ > 群馬 > 記事一覧 > 3月の記事一覧 > 記事

### 【群馬】

## 舞台でも助け合い、実体験を熱演 原発事故の苦難 仮設住宅での絆...

ツイート **0** | シェア **0** **G+** **0**

2016年3月20日

東日本大震災と原発事故をテーマにした、福島県南相馬市と宮城県気仙沼市の仮設住宅で暮らす被災者らによる寸劇が十九日、高崎市の市民活動センターで初演された。発生から五年。震災当初の不安や恐怖に立ち向かい、家族や地域の絆を胸に復興に向かう姿を熱演し、会場は拍手に包まれた。(川田篤志)



終演後に観客から花束を渡され、笑顔を見せる出演者ら＝高崎市で

震災後から南相馬と気仙沼で被災者の心のケアを続ける、みなかみ町のNPO法人「こころの応援団」の千代田すみ子代表(57)が、風化防止につなげようと企画した。

劇は二本立てで、被災者の体験談を基に千代田さんが脚本を書いた。気仙沼の六人、南相馬の十二人とも素人だが、昨夏から稽古を重ね、この日早朝からそれぞれバスで来県した疲れを見せず、練習の成果を披露した。

気仙沼で津波に襲われた家族を描いた「それでも明日はやってくる」では、「家族が無事ならそれでええ」と印象的なせりふが響いた。南相馬の「それでもここで生きていく」では、予期せぬ原発事故で避難を強いられた苦難や、仮設住宅で絆を深める住民たちの姿を熱演した。

終演後は全員が舞台上に立ち、観客に感謝を伝えた。気仙沼の小野寺忠行さん(74)は「せりふが覚えられず夢にまで出てきた」と苦労話を披露。「被災時は『津波はたいしたことない』と油断があり、心構えが大切と実感した。震災の教訓を後世に伝えて」と訴えた。

南相馬の半杭英夫さん(82)は「今日演じたのは実体験。地域の人とバラバラになるなど大変だったが、仮設住宅で新しい絆もできた。少しでも皆さんに伝わったらうれしい」と話した。

千代田さんは「今日ミスがあったけれど舞台上で助け合う姿に震災の体験がここでも生きていたと感じた。群馬の人にも被災地のことを忘れずこれからも応援して」と呼び掛けた。

観劇した高崎市の主婦植村俊子さん(72)は「被災地で何か手伝いたくても遠くて何もできずにいた。出演者の『震災の記憶を伝えていこう』という心意気に感動した」と話した。

ためしよみ | Webでためしよみ | 新聞購読

**東京新聞**

5年前の『今日』の東京新聞、読めます

3月11日から4月12日まで

企画特集

**京川線に乗りこえ** 都電サポーターズ紹介ページ開設

サポーターズの取り組みをはじめとした様々な角度から、魅力を発信します!

**HEART & DESIGN FOR ALL**

誰もが暮らしやすい社会の実現へ

東京新聞 電子版 全国で読めます

- アクセスランキング
- 地方版記事 | 東京新聞
- 1【神奈川】 県立高入試 15年度も採点ミ...
  - 2【茨城】 公示地価 常総住宅地の落ち込み...
  - 3【神奈川】 公示地価 住宅、商業地とも上...
  - 4【神奈川】 鎌倉大仏の状態は「良好」 調...
  - 5【埼玉】 <センバツ甲子園>きょう初戦 ...

[天気予報] きょうの予報

全国の天気  
週間天気  
雨の予想  
紫外線情報

北部 10/ - 60%

南部 15/ - 30%

- TOKYOweb関連サイト
- 携帯情報サービス
  - ニュースクリップ
  - 記事データベース
  - 思い出新聞
  - 東京新聞フォトサービス

東京公演が二十一日午前十時から、東京都目黒区八雲のめぐろパーシモンホールである。無料。

東京新聞フォーラム  
東京新聞奨学会

この記事印刷する

リンク

JWN全国新聞ニュース網  
47NEWS

PR情報

全国の逸品をお取り寄せ！47CLUB（よんななクラブ）  
【47クラブ】お手軽な本格「だしパック」で食卓が変わる！

最新記事

記事一覧

- 公示地価 前橋市中心街の商業地2地点 24年ぶり下げ止まり (3月23日)
- 空き家問題が解決しない理由 最多は「所有者の合意不能・無理解」 (3月23日)
- 工女姿でおもてなし 富実生が「校内産」梅のケーキ配布 (3月23日)
- 自慢の舞、歌で元気に長生き 安中で芸能発表会 (3月23日)
- 高崎だるま、台湾で人気 総統選で「勝利に一役」 (3月22日)
- 「桐生祇園屋台」黄金のふすま絵 あすまで公開 (3月22日)
- ガスバ3選手のプレーに大喜び 沼田のサッカースポーツ少年団 (3月22日)
- 安中・補陀寺で年長園児が20分間座禅 新1年生へ心の修行 (3月22日)
- <センバツ甲子園>終盤追い上げ 粘り見せた 桐生第一 前半の失点響き涙 (3月21日)
- <熱球譜>度胸示した初公式戦 夏はエースの座を 金田海都 (かねた・かいと) 投手 (3年) (3月21日)

外部広告リンク

**コピー機リースが最大75%オフ** - [offisuke.com](http://offisuke.com)  
人気A3コピー機が月額4800円から。最短5分の見積回答。顧客満足度は91%

**アイロンがけをラクにきれいに** - [panasonic.jp/iron/](http://panasonic.jp/iron/)  
かけやすさが違うアイロン面仕上がりが違う全面スチーム

Ads by Yahoo! JAPAN

このページのトップへ

東京新聞 | 会社案内 | 採用情報 | 購読申込 | 関連企業 | ご質問・お問い合わせ | ウェブ広告掲載 | 新聞広告掲載 |

サイトポリシー | 著作権 | 個人情報 | リンク

Copyright © The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.